

(5) 下水道による積雪対策の推進

～新世代下水道支援事業制度において積雪対策を明確化～

1. 背景・目的

積雪地域においては、歩行空間の確保や除排雪に係る住民の負担の軽減などが重要な課題となっている。平成18年豪雪において、下水道を活用した積雪対策の有効性が示されたことなどから、平成18年11月に閣議決定された豪雪地帯対策基本計画において、下水処理水や下水道管きよを活用した積雪対策の推進が新たに盛り込まれたところであり、これらを受け、下水処理水や下水道管きよ等を活用した積雪対策を積極的に推進する。

2. 概要

下水道施設や下水処理水を活用した積雪対策を積極的に推進するため、新世代下水道支援事業制度リサイクル推進事業に、「積雪対策推進型」を創設する。

3. 事業効果

下水道による積雪対策事業を新世代下水道支援事業制度において明確化することにより、下水道による積雪対策の積極的な推進を図り、地域の積雪対策に貢献するとともに、安全・安心な地域づくりに資する。

下水道による積雪対策の推進

下水処理水の消融雪用水への活用

比較的高温の下水処理水を消融雪用水として有効活用するため、処理水供給施設を整備



下水処理水を活用した消雪

雨水調整池等の融雪槽としての活用

雨水調整池等と効用を兼ねた融雪槽の整備

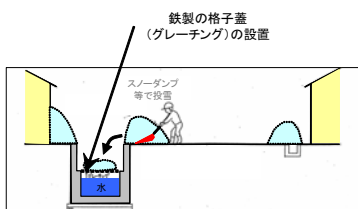


調整池等を活用した融雪槽への積雪

雨水の排水路を利用した流雪水路等の整備

下水道の雨水排水路を流雪水路等として活用するため、投雪口等を整備

【流雪溝の構造】



積雪対策のための下水熱の利用施設整備

下水熱を積雪対策に活用するため、下水及び下水処理水の熱の利用施設を整備

